



Wi2、BIC WiMAX SERVICE との組み合わせプラン開始

～ビックワイマックスサービス向け「ビックカメラ・ソフマップオリジナルプラン Wi2 300」の提供～

2009年11月16日

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス（本社：東京都港区、代表取締役社長：日比野雅夫、以下 Wi2）は、株式会社ビックカメラ（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：宮嶋宏幸、以下ビックカメラ）と共同で、WiMAX と Wi2 の無線 LAN（*1）を組み合わせたサービスを11月17日より提供開始します。

Wi2 は、ビックカメラグループと販売提携し、その第一弾として、ビックカメラ・ソフマップ専用の「Wi2 300」プランである「ビックカメラ・ソフマップオリジナルプラン Wi2 300」を10月16日に導入し、共同プロモーション及び販売を展開しています。今回、販売提携の第二弾として、ビックカメラグループの WiMAX サービス「ビックワイマックスサービス」ユーザ向けに「ビックカメラ・ソフマップオリジナルプラン Wi2 300」を提供します。

ビックカメラグループは、今年の7月1日より「ビックワイマックスサービス」（*2）及び10月1日より新幹線や空港などで利用できる無線 LAN サービス「WiFi+プラス」（無料オプション）を提供していましたが、さらなるユーザ利便性向上を図るため、ビックカメラグループと Wi2 は「ビックカメラ・ソフマップオリジナルプラン Wi2 300」をオプションとした「ビックワイマックスサービス」を開始します。これにより、ビックワイマックスのユーザは、従来のビックワイマックスの料金である月額4,480円（税込）のみで追加の料金を支払うことなく、丸の内や横浜、リムジンバスなど Wi2 独自のエリアに加え、駅・空港・ホテル・マクドナルドなど全国約7,000か所の公衆無線 LAN スポットを利用できます。

お申込みは、ビックワイマックスサービスのマイページにログインし、「ビックカメラ・ソフマップオリジナルプラン Wi2 300」お申し込み画面で登録する簡単な手続きで可能です。

Wi2 は、公衆無線 LAN 環境を拡大しユーザの新たな利用シーンを創出していくとともに、ユーザが楽しめるコンテンツについてもラインアップを拡充します。そして、人々のライフスタイルに WiFi などの無線ブロードバンドがさらに広く普及することに注力して参ります。

*1

IEEE 802.11 シリーズの標準規格で、Wi-Fi 技術を元に作られたネットワークを一般的に無線 LAN といいます。2.4GHz 帯や 5GHz 帯など免許の不要な周波数帯を利用し、最高伝送距離は 100m、最高伝送速度は 300Mbps (11n) もしくは 54Mbps (11a/g) の近距離無線技術。Note-PC から始まり、iPhone 等携帯電話や、ニンテンドーDS、PSP®、iPod® touch 等ゲーム機など多様なモバイル端末に普及しています。

*2

IEEE802.16 をもとに規格化された高速ワイヤレスインターネットを一般的に WiMAX（ワイマックス）といい、ビックカメラグループは、UQ コミュニケーションズの MVNO 事業者として「ビックワイマックスサービス」を提供しています。「ビックワイマックスサービス」は、データ通信カードをノートパソコンに差し込み簡単な設定だけで下り最大 40Mbps の高速モバイル通信、WiMAX を利用できる月額定額 4,480 円（税込）の使い放題サービスです。そのオプションの「Wi-Fi+プラス」は、WiMAX が不安定、またはエリア外の場所において無線 LAN（WiFi）を利用してインターネット接続を可能とするサービスで、UQ WiMAX のオプション「UQ Wi-Fi」と同様に、新幹線、成田エクスプレス、都営地下鉄などの交通機関や空港で利用できます。